

番の理由です。

韓非子の古典に「下君は、己の能を尽くし、中君は人の力を尽くし、上君は人の智を屈す」があり、リーダーのランクとして三つに分けて説明している。

下君——一番ダメなリーダー。自分の能力で仕事をする。

中君——中位のリーダー。人の力を使う。

上君——一番優れたリーダー。人の知恵を使う。

自分の能力で仕事をしているうちは、大きな仕事はできない。まして天下を取るような大事業はとて達成できない。という意味であろうか。

今から二千年以上も前の言である。大きく勢力を拡大し、天下を取ってきた人物達はいずれも自分の部下の能力を見出し、その能力をうまく引き出してそれを組織力として結集していった。三国志の時代だけでなく、いつの時代においても、その理念は変わらないですね。

リーダーの五つの条件

智——状況を読む力（先見力）。敵を知り己を知る。勝算なきは戦うべからず。

勇——勇気、決断力。前へ進む勇氣、撤退する勇氣も大切。

信——誠意、信頼。中国では人間

関係を保つ上で最低限の条件と見なされている。

又部下に対する統率力「信」がなければ部下はついてこない。

厳——厳しい態度「信賞心罰」で部下に臨む。

仁——思いやり（相手・部下に対する）。

厳と仁、二つのバランスをどう保っていくかが、部下に臨むリーダーの心得であると孫子は説いている。



講演する田中氏

もさせる。いやな仕事も絶対させる。

②報酬力——これをやれば給料、ボーナスを上げること。また言葉を投げかけること。

でもこの①と②は高崎山のサルでもやれることです。

③専門力——その道にかけては、絶対の力があること。又譲らないこと。

④正統力——肩書があること。日本はこれに弱い。

⑤魅力——人を引きつける力。今これが大変問題視されている。

人間の基本三大条件

一、誠実——これは大変むずかしい。人間ちよつとでも誠実さをはずしたらダメ、というところ世の中、窮屈で生きられないようなところがあります。多少これはいいかないところもあります。善悪をしつかり捉えることのできる人。人間にとって基本中の基本だと思っています。

二、寛大——心の広さ。スケールが大き。自分が多少犠牲になっても心の広い人。

三、明朗——明るさ。考えが明るい前向きな人。これは人を引きつける大きな要素であろうと私は思います。ポジティブであること。使う言

業でもネガティブな人が「もうダメです。」と言え、本当に暗くなり救いようがない。一方、ポジティブな人が「まだダメですよ。」と言え、もつとガンバラないと、というイメージがありますね。

行動面から見た魅力的な人の四大要素

「低・賞・感・微」

低——低姿勢。腰が低いということ。いろんな人からいろんな物を吸収して自分を磨いていきたいという心に謙虚さがある人。「実る程頭を垂れる稲穂かな」

賞——賞賛。自分で自分を褒めること。認めてあげること。小さなことを具体的に心から褒めてあげる。

感——感謝。感激。感情。現在の職場で仕事ができることに誇りと感謝の気持ちがない人は、いい仕事ができない。感謝の気持ちから仕事は始まる。ファイトがわく。それらをまとめて「感性」といいます。今は失われた時代だと言われている。大変に残念です。ロジャー・ステリー（ノーベル賞受賞博士）曰く、「感性を磨く」とはむずかしい事ではな

い。日常生活の中で、物事に感動する機会をできるだけ多く取り入れなさい。」美しい景色を見て感動したり、いい音楽を聴いたり、絵を見たり、文学作品に触れたり、これが大事なんだと言っています。大いに物事に感動して感性を磨いて下さい。

微——微笑。女性の特権ではありません。男はムツリ無表情、これは昔のことです。今は男性も、時には心からの笑顔が要求されている時代なんです。

上役として上司として先輩として、一番大切な役割は、部下にいい影響力を与えること、いい見本を見せてあげることです。これが何よりの教育だと思っています。

③鋭い洞察でさまざまな人間の本性に迫った書。

④鋭い洞察でさまざまな人間の本性に迫った書。

⑤鋭い洞察でさまざまな人間の本性に迫った書。

⑥鋭い洞察でさまざまな人間の本性に迫った書。

⑦鋭い洞察でさまざまな人間の本性に迫った書。

⑧鋭い洞察でさまざまな人間の本性に迫った書。

⑨鋭い洞察でさまざまな人間の本性に迫った書。

⑩鋭い洞察でさまざまな人間の本性に迫った書。

講師略歴 田中七夫氏 (たなか ななお)

- 1938年 東京都に生まれる
- 1961年 学芸院大学 文学部卒業
- 1963年 同大学卒業後渡米 アメリカに留学
- 現代心理学の権威ダーウィン・フィリップ・カートライトに師事、社会心理学を専攻。現在、大手企業・病院・官公庁で「人間関係」「リーダーシップ」「自己啓発」等の講演で活躍中。

ベストセラーベスト10

- 1位 大河の一滴
- 2位 太公望
- 3位 絶対音感
- 4位 商人懸賞日記
- 5位 理由
- 6位 娘心にブルースを
- 7位 王たちの行進
- 8位 小さいことにくよくよするな
- 9位 キレるキレないは「食」で決まる
- 10位

愛文社書店 調べ



他人をほめる人、けなす人
草思社
1,680円



不夜城
角川書店
1,575円



メス化する自然
集英社
2,100円

話題
注目
おすすめ
BOOK